

題材名 ザラザラ、フワフワ

配当時間 2時間

準備物 教師 ウレタン(厚さ1cm・5cmくらいのもの)、ひも、モール、輪ゴム

児童 ふわふわな材料、ひも、輪ゴムなど縛ったり結んだりできるもの、はさみ、接着剤

育みたい資質や能力

- ・材料に興味をもち、身体全体で触れ、その気持ちよさを感じる心。
- ・やってみたいことを思いついたり、つくりたい思いをもつ発想する力。
- ・材料を使ってできることを楽しく試す創造力。
- ・材料の特徴からできた形の楽しさや美しさ、つくり方に気づく鑑賞の能力。

題材観

材料はつくるためのものであると同時に子どもにとって遊び道具でもある。材料のウレタンや綿はすぐに触れたいと感じる素材であり、その柔軟さに手や身体を使ってかかわろうとする。また、素材のやわらかさを肌で感じることで、やさしい気持ちになり、あたたかな気持ちで取り組むことができる。

材料に身体全体でかかわり、十分触れ合うことができれば、子どもはその体感から素材の形を変える操作を自らの身体でつかみ取ることができる。形を変える操作をキュッ!という言葉に置き換え、その方法を子どもたちが自ら発見した時に、「なキュッ!だね」と取り上げ、できていく形の美しさに気づきながら自分なりの方法を引き出していくようにする。

また、形を変えるいくつかの方法を発見していくことから今までと違ったつくり方に気がつき、つくることの楽しさを味わい、新しい発想が生を生ま出したり、思いを広げることのうれしさや楽しさを実感していくようにする。

学習の目標

- ・材料の手触りや量感、形の変化などを体で十分感じて味わいながらつくる。
- ・身の回りにある材料の特徴を生かして、自分なりに工夫してつくる
- ・自分の作品のよさや、友だちの作品のよさを見つける。

指導計画

1. 材料を見て、弾力感を感じさわってみたい思いをもつ。
2. 材料に触れ、ふわふわな感じを身体全体で感じて遊ぶ。
3. 手や道具を使って方法を試しながら材料の形を変える。
4. できた形からつくる工夫や形の楽しさを感じる。

評価

- ・材料の特徴を十分に感じて活動しようとしている。(造形への関心・意欲・態度)
- ・材料の特徴をもとに、思いついたものをつくらうとしている。(発想や構想の能力)
- ・材料を丸めたり、ひねったり変形し、つくり方を自分なりに工夫している。(創造的な技能)
- ・形や飾りの楽しさや面白さに気づいている。(鑑賞の能力)

指導上の留意点

ウレタンや綿、クラフト紙は、低学年が扱う材料として適切である。似たような素材のスポンジやふわふわな感じをもつ枕やクッション、ぬいぐるみなどは家庭でよく見かける身近なものであり、意欲的に遊べる材料でもある。

しかし、材料の与え方に注意が必要である。材料を四角四面に用意するのではなく、一つ一つがそれぞれに少しずつ違った形にしておく。意味をもたないシンプルな形は、子どもの手で形を変えることによって意味をもつ。また、両手で胸の中に納め、やさしくだっこだけるほどよい大きさは、遊びたくなるものである。形と大きさが素材感のよさを引き立て、身体全体で素材感が味わえるよさがある。

材料とかかわりながら、ある程度の変化が生まれたところで細くて長いものや部品になるような材料などを用意しておく、そこからまた、新しい発想が生まれ、つくり変えていくことができる。材料の準備と与え方は活動の意欲に大きくかかわると言える。か

材料の特徴のよさも低学年に適切である。素材のやわらかさを肌で感じ、つくる過程でもやさしくあたたかな気持ちで取り組むことができる。また、小さな手で自由に形を変えることができる柔軟さがあり、思いのままに容易に扱える。材料に身体全体でかかわり、遊びながら十分触れ合うことができるので、子どもはその体感から素材の形を変える操作を自然に見つけ出すことができる。

そして、輪ゴムやひもで縛ったり結んだりして形を変えた後も、輪ゴムやひもをとればもとの形にすぐ戻すことができる。そのために、やり直しが簡単にできることである。形の向きを変えたい、もっと小さい形をたくさんつくりたいなどの思いをもった時に、曲げ方や縛る場所を変えたり、違うひもを使ってみたり、小さく結び直したりなどの活動をすることができる。このことは、表現をする上で、思いに合わせてつくり変えていくことの大切さを学習する場面で有効である。やり直しにくい材料では時間をかけてできたものについて直すことに抵抗感があるが、いろいろ試して遊ぶ活動を重視することで、その時々につくり方を発見する楽しさを味わいながら表現することができる。

学習の流れ

時間	子どもの活動の流れ	教師の役割
5分	<div data-bbox="276 249 1000 351" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 材料を見て、弾力感を感じる。さわってみたい思いをもつ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ふわふわな感じや弾力感を見て楽しんだり、気づいたりする。 ・いろいろな形を見て、楽しさを感じる。 ・自分でも早くやってみようという意欲をもつ。 	<p>「今日はこの材料を使います。ふわふわな材料だよ。気持ちよさそうだね。さわってみたいね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウレタンを両手で縮めたり、ポンポンとたたいたりして素材の柔らかさや柔軟さ、軽さなどを見て感じたり気づいたりできるように紹介する。 ・用意した形がいろいろ違い、それぞれの楽しい形に気づくようにする。
20分	<div data-bbox="276 568 1000 633" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 材料の触れ、ふわふわな感じを身体全体で感じて遊ぶ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな形の材料をさわりながら自分で使ってみようという材料を決める。 ・手や身体を使って弾力感を確かめたり、気持ちよさを感じる。 	<p>「気に入った形の材料で遊んでみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふわふわだね、やわらかいね」という言葉がけをして、やさしい気持ちを引き出しながら材料と接するようにする。 ・素材に対する安心感を生み、抵抗感を減らす。 <p>「ふわふわの感じはどうだったかな。」</p>
5分	<div data-bbox="276 924 1000 1026" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 材料と遊びながら手や身体を使っているいろいろな形のキュッ！ができていたことを振り返る。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・用意したひもなどが形を変えるための道具や材料だということを理解する。 	<p>「キュッ！をすると形が変わったね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弾力感で形が変化した様子をキュッ！という言葉に置き換え、遊びながら材料がいろいろな形に変化していたことを思い出すようにする。 <p>「形を変えるキュッ！にはどんな方法があるかな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手を離すとともに戻ってしまう形を、輪ゴムやひもなどを使って留めておくことを提案する。
45分	<div data-bbox="276 1259 1000 1361" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 材料の気持ちよさを味わいながら手や道具を使っているいろいろな形のキュッ！を試す。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「大きなキュッ、小さなキュッ」「ちぢめてキュッ」「まんまるキュッ」「まるめてキュッ」「ねじってキュッ」「むすんだらたのしいキュッになった。」などと言いつつ、発見する喜びを味わいながら活動する。 ・ひもや輪ゴムなど形を変えるのに適切なものを選ぶようにする。 ・他の材料を組み合わせたか、直したりしながらもっと気に入るように変えたりする。 	<p>「いろいろなキュッ！を試してみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手や道具を使うといろいろな形に変身することを伝え、方法を試しながら材料の形を変えて楽しむ。 ・形を変える方法を子どもたちが自ら発見した時に、「なキュッ！だね。」と取り上げる。 ・キュッ！という言葉に表されるものには大きさ、形、方法、印象などがある。 ・ひもを縛る力の入れ具合や輪ゴムの巻く回数などで形の変化に違いが出てくる。形の変化の様子を確かめながらつくるようにする。 ・力の弱い子や押さえながら縛れない子、また、輪ゴムで材料の中央を結べない場合には細いアルミ線を使う。 ・できた形の美しさにも気づきながら自分なりの方法を引き出していくようにする。
5分	<div data-bbox="276 2000 1000 2101" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> できた様子を見せ合い、自分や友だちのキュッの方法を見合う。 </div>	<p>「自分の作品や友だちの作品はどんなキュッ！をして形を変えたのか鑑賞してみましょう。」</p>
10分	<div data-bbox="276 2143 1000 2208" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分や友だちのキュッで楽しいところを発表し合う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「輪ゴムのキュッはおだんごや三つ編みみたいだ。」「わたを両手でキュッするととげとげになった。」など、気がついたことを話しながらいろいろな工夫で形が変身した様子を確認し合う。 ・材料のふわふわ感が気持ちよかったことを振り返り、つくる工夫や形の楽しさを感じる。 	<p>「自分や友だちのキュッ！で楽しいところを発表しよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でつくったキュッ！の名前を伝えたりしながら、つくった方法のよさに目を向けるようにする。 <p>「材料のふわふわの気持ちよさから楽しい形がいろいろつくれたね。」</p>